

目次

1 章	日付と時刻の基本	2
	①DATE 関数	6
	②次の月（日）の繰り上げ	11
	③TIME 関数	14
	④分の自動調整	20
2 章	日付から「年・月・日」を取り出す	22
	①YEAR 関数	22
	②MONTH 関数	26
	③DAY 関数	29
	④TODAY 関数との組み合わせ	33
3 章	時刻から「時・分・秒」を取り出す	37
	①HOUR 関数	37
	②MINUTE 関数	41
	③SECOND 関数	45
4 章	現在の日時を扱う	49
	①TODAY 関数	49
	②NOW 関数	50
	③日数の計算	53
	④&を使った表示	56
5 章	日付の応用	61
	①四則演算	61
6 章	文字を取り出す関数	66
	①LEFT 関数	66
	②RIGHT 関数	71
	③MID 関数	75
7 章	表示を整える関数	80
	①TEXT 関数	80
	②VALUE 関数	86
	③IFERROR 関数	92
	④値に式を入れてみよう	99
8 章	条件分岐の発展	102
	①AND 関数	102
	②OR 関数	107
	③IFS 関数	110
9 章	条件付き集計	116
	①SUMIFS 関数	116
	②AVERAGEIF 関数	122
	③COUNTBLANK 関数	126
さくいん		130



はじめに

1-1 このテキストの目的

このテキストは、エクセルの基本操作を習得した方が、**日付や時刻の扱い方、文字の加工、条件付きの計算**などを学び、より実務的なデータ処理ができるようになることを目的とした学習資料です。

「セルに文字や数値を入力できる」「SUM 関数や IF 関数などの基本的な関数は使える」という段階から一歩進み、日付の計算、文字の取り出し、表示の整形、条件を使った集計など、**実際の資料作成で役立つ関数**を順番に学んでいきます。

町内会の名簿管理や回覧資料、業務での一覧表など、日常的に扱う表を題材にしながら、「**必要な情報を取り出す**」「**見やすい形に整える**」「**条件に応じて自動で計算する**」といった実践的なテクニックを身につけていきます。

「**毎回同じ計算を手作業で行っている**」「**もっと簡単に表を作れないか**」と感じている方や、エクセルの関数をもう一歩活用したい方に役立つ内容になっています。



※本書は、「エクセル応用」が修了された方から学習できます。関数についてより理解が深まる内容となっています。

※本書は「Microsoft Excel 2021」を使用して作成しています。

1 章

日付と時刻の基本



エクセルで日付や時間を扱う際に必要な知識を紹介するよ。

エクセルで日付や時刻を扱うとき、まず理解しておきたいのが
“日付や時刻は見た目ではなく、数値として管理されている”という仕組みです。

シリアル値について

エクセルでは日付や時刻はシリアル値という連続した数値で保存されています。

- ◇ 1900 年 1 月 1 日 = 1
- ◇ 1900 年 1 月 2 日 = 2
- ◇ 1900 年 1 月 3 日 = 3

1990 年 1 月 1 日を起点として「通算何日目？」といった形で 1 日増えるごとに 1 ずつ増える数値で管理されています。

シリアル値の例

表示	シリアル値（実際の数値）
2026/4/1	46113
2026/4/2	46114

日付の計算について

日付はシリアル値で管理されています。

$$= \text{今日の日付} - \text{昨日の日付}$$

このような式で計算すると結果は 1 となり引き算が可能となります。

時刻について

時刻もシリアル値で管理されています。

日付は整数で管理されているのに対して**時間は小数で管理**されています。

時間	シリアル値（実際の数値）
0 : 00	0
6 : 00（6 時間）	0.25
12 : 00（12 時間）	0.5
18 : 00（18 時間）	0.75

1 日 = 1

12 時間 = 1/2

1 時間 = 1/24

日付+時刻の場合

表示	2026/4/1	12:00	合計 46113.5
シリアル値	46113	0.5	

日付も時間もシリアル値で管理されているためシリアル値で計算が可能です。

$$= \text{今日の日付} + \text{今の時間}$$

なるほど！
だから日付や時間の
計算ができるんだね。



**エクセルでは
数値（中身）と表示形式（見た目）は
別物！と覚えておこう**



やってみよう

シリアル値をみてみよう

今日の日付のシリアル値はなんだろう？



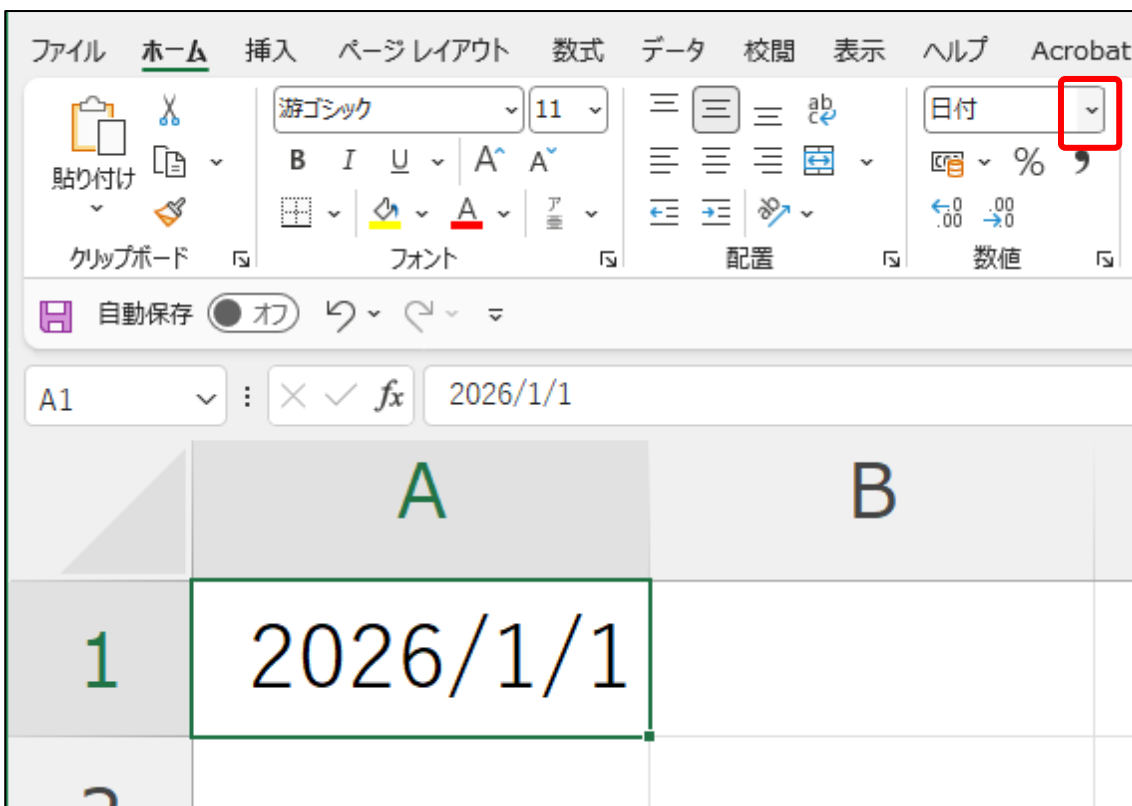
	A	B
1	2026/1/1	
2		
3		

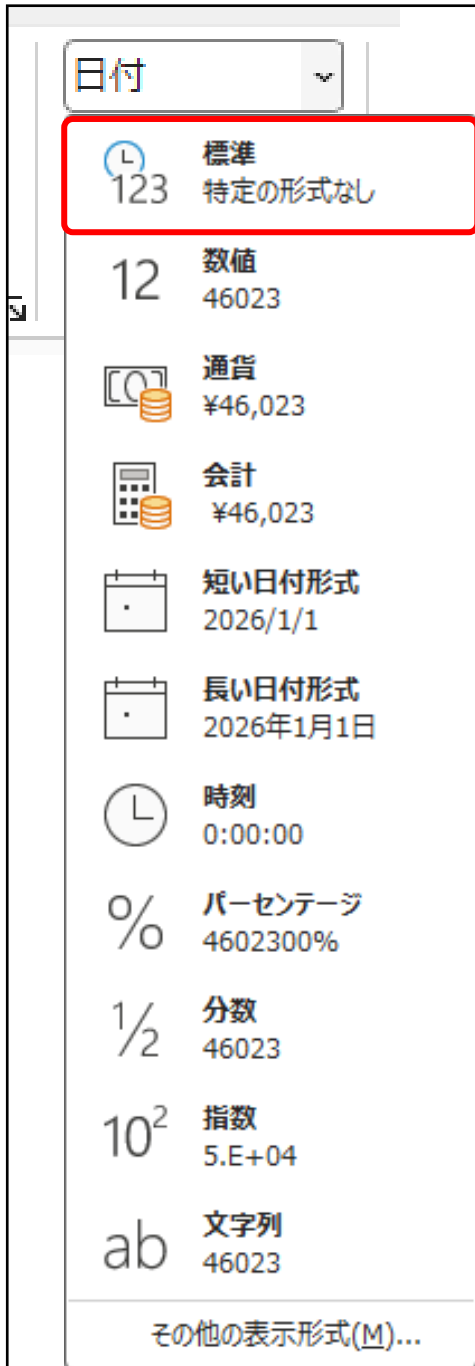
1

A1 に今日の日付を入力します。

2

「ホーム」タブの数値グループにある日付の「V」をクリックします。





3

「標準」をクリックします。

4

シリアル値が表示されました。

5

「今日の日付」とUSBメモリに名前を付けて保存しましょう。「閉じる」をクリックします。

	A	B
1	46023	
2		
3		

次のページから実際に関数を使っていくよ。



この章で使用する関数

- ^{で い と} DATE関数
- ^{た い む} TIME関数

デ イ ト ① DATE関数

「空白のブック」を開きましょう。



1

以下のデータを作成し、「日時の計算」とUSBメモリに名前を付けて保存しましょう。

	A	B	C	D	E
1	関数で日付を表示する				
2	西暦	2026		日付	
3	月	1			
4	日	1			
5					

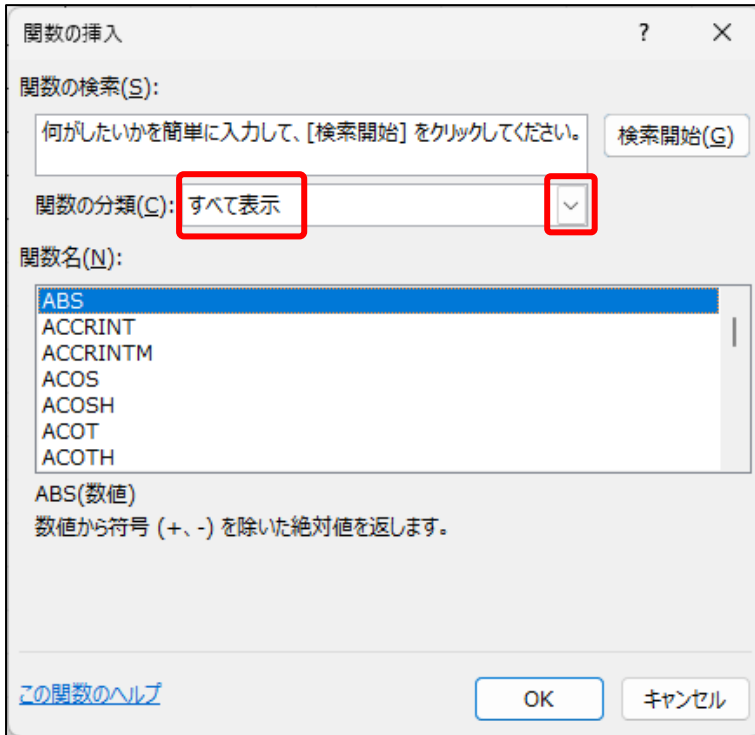
2

E2 をクリックし数式バーの （関数の挿入）をクリックします。

E2	▼	:	×	fx		
	A	B	C	D	E	F
1	関数で日付を表示する					
2	西暦	2026		日付		
3	月	1				
4	日	1				
5						

3

「関数の分類」のVをクリックします。
「すべて表示」をクリックします。



4

「DATE」を探してクリックします。（下へスクロールします）
「OK」をクリックします。

